健康友の会みみはら2024年1月会員数

会員数 8 94,118 (前月比) 手配り 29,035 (前月比) 十 35 郵 送 9,066 34 (前月比) 一

[前月比 8増] 会員世帯数 2,457,482,000円(1/31現在) [前月比 1,800,000減

協同基金出資者数 22,527名(1/31現在)



発行 健康友の会 みみはら



本部事務局組織部 機関紙編集委員会

T590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 Tel.072-244-8061 Fax.072-244-7860

1部 30円



会場からも積極的に発言





ら、情勢と同 職員、友の会、 後、森専務か 告があり、役 あいさつの 地域の協力 いる事業の報 仁会が進めて

りの多いもの 樹」をより実 2030年の で、「みみはら

総合病院の目指す医療、 指導で身体を動かした 各責任者からありまし 設建設についての報告が 堺区でのひまわり会の施 ました。その後、鳳クリ 運動指導士の田中さんの た。休憩をはさんで健康 ーック建設運動の進捗、

江戸会長の

員職員合わせて70人が参加。友の会結成

大代表世話人会議が開催されました。会2月1日、ウェスティ多目的室で、拡

に、との決意が述べられ

40周年にむけて、来年度の支部活動につ

いて活発な討議が行われました。

|担い手増やし]を最重要

年である2024年度 た。友の会結成40周年の 2023年度の活動の振 後、篠原事務局長から、 業と運動を進めるため、 の樹」の実現に向けた事 は、「みみはら2030年 り返りと、2024年度 方針の報告がありまし

のキーワードを考えまし 有し、来年度の取り組み た。「知らせよう」「コミュ 支部での活動や悩みを共 うとの提案がありました。 いのまちづくり」を広げよ けられるふれあい支え合 グループ討議では、各

課題に、仲間を増やして |誰もが安心して住み続

取り組みます。(事 が上げられました。 なぐ輪」「ネットワー 24年度の方針づくりに 討議の内容を元に、 くり」などのキーワード

ークづ

2 集中

ーケーション」「集る

分散会

在宅クリニック 奥村先生

えている「病気をし たり、まちがいなく は、毎年新春のつど いを行ってきまし 今年は、 南区ブロックで 誰もが抱

迎える最期をどのよ う」という心配を少 うに生きるのだろ こ取り』をしながら療養 期を迎えるには『いいと

り上がりました。 ながら、初めに難波家狂 療」について学びまし 言さんの落語で大いに盛 者の苦しみに思いを馳せ 在宅クリニックの奥村伸 しでも解決できるよう、 一先生を招いて「在宅医 能登半島地震の被災 新春のつどいなの

医療機関で亡くなってい 用者の増加、理想の終末 宅クリニックの実際や利 とは大きく離れて8%が 来との違い、国民の願い など先生の家族の例も出 るという現実、その理由 利用する条件、入院や外 して話されましたが、在 講義では、訪問診療を 震の被災者のことや、医ていました。能登半島地 携の話など、今まで「在や、他の医療機関との連 療現場の厳しさを考える まり、期待の声が上がっ 付かされました。 面があったのでは、 宅医療」を過小評価する ひしひしと感じまし と政治の役割の大切さを 「在宅医療」への理解が深 参加者の感想からも、

(泉ヶ丘西支部 注子)

した。

聴診

した。 「想定外でした」で済ませ ▼まず、1月日本に必要?

られる問題なのかなあ。

いけばいいと

いう話